

報道関係者各位

株式会社ハイパーギア

## QRコードにより、デジタル複合機でスキャンするだけで、 ファイル名の自動登録やFAXの自動仕分けをおこなうソフトウェアを発売

ソフトウェア開発の株式会社ハイパーギア（埼玉県さいたま市 代表取締役社長：本田克己）は、QRコードを用いて、富士ゼロックス株式会社製ドキュメント処理・配信ソフトウェア「ApeosWare Flow Service」のプラグインとして動作し、デジタル複合機でQRコードが貼り付けられた紙原稿をスキャンするだけで、認識したQRコード情報からファイル名の自動登録をしたり、QRコード付きの原稿をFAX受信するだけで、フォルダーの自動仕分け、文書管理システムへの自動登録を可能にするPDF変換ソフトウェア「HG/PscanPro for ApeosWare FlowService 4.0」を発売いたします。

### <紙文書電子化のリネーム、登録問題を解決>

デジタル複合機の普及により、オフィスのコピー機でスキャンするだけで、簡単に高速に紙文書の電子化ができるようになりました。しかしデジタル複合機ではスキャンしてPDFなどへは高速で変換できますが、ファイル名は0001.pdfのような連番か、20060320.pdfのような日付あるいは時刻でしかつかないので、電子化された後で意味あるファイル名へのリネーム作業、文書登録などの作業のほうが、はるかに時間がかかり、間違いも多い、電子化の大きな課題でした。本ソフトウェアでは、QRコード化されたファイル名や文書タイトルなどの重要な情報を認識により正確に復元し、ファイル名の自動設定や、自動仕分け、文書管理システムなどへの自動登録が行えるようにします。

### <ペーパーレスFAXの自動振分け>

受信したFAXを紙に印刷せず、電子文書として利用する、デジタル複合機のペーパーレスFAXは業務合理化に有効ですが、FAXの振分けは発信元電話番号でおこなうなどの方法しかなく、多くの場合は人手で振分けしていました。本ソフトウェアにより、同じ電話番号からの受信FAXでも、あらかじめQRコードをはっておくことで、必要な部署、フォルダーへ自動振分けできます。

### <QRコードにより、高精度化、大容量化を実現>

従来、このような文書自動登録は1次元バーコードや、マークシートなどの専用登録シートによっておこなわれていました。これらに比べ、QRコードは漢字でも1800字程度入れられるため、日本語のファイル名をはじめ、重要な属性データを多く入れておくことができます。また、誤り訂正機能をもつため、汚れや傾きなどがあっても、認識でき、コードの印刷面積も小さいため、既存の書類の空きスペースに貼付ことができ、専用シートが不要です。

## <HG/PscanPro for ApeosWare Flow Service4.0 の特長>

- 1. 富士ゼロックス製ドキュメント処理・配信ソフトウェア「ApeosWare Flow Service」連動**  
「ApeosPort シリーズ」、「DocuCentre シリーズ」などの富士ゼロックス製デジタル複合機のユーザーは、「ApeosWare Flow Service」配信ソフトウェア経由により、本ソフトウェアの自動ファイル名設定、フォルダー自動振分け、受信 FAX の自動振分けなどの機能を複数のデジタル複合機から利用することができます。
- 2. ファイル名などを自動設定**  
ファイル名を QR コードとして紙文書に付与することにより、スキャンするだけでファイル名を正確に復元した PDF に変換できます。手作業によるリネームなど不要です。
- 3. 任意フォルダに自動振分けが可能**  
ファイル名だけでなく、フォルダー名を QR コードで付与することにより、スキャンするだけ、あるいはファックスとして受信するだけで、電子文書の自動振分けができます。これにより、複合機のペーパーレス FAX と連携して、遠隔地からの受発注や報告書の自動登録システム等が容易に実現できます。
- 4. 文書管理システム、情報共有システムに自動登録**  
QR コードに、文書名、キーワード、作成者などの文書属性データを入れることにより、スキャンだけで、文書管理システムなどへ自動登録できます。  
特に、富士ゼロックス製「ArcWizShare」情報共有ソフトウェアとでは連携動作を確認しており、簡単に自動登録ができます。
- 5. QR コード生成ツールが添付**  
添付の QR コード生成ツールで、CSV ファイル読込によるバッチの QR コードの生成だけでなく、PDF やワード、エクセルあるいは、富士ゼロックス製のドキュワークスなどの電子文書ファイルからファイル名などの情報を自動的にとりだし、QR コードに変換し、画像として貼付けられることもできます。この処理がされた電子文書ファイルは紙にプリントされても、ファイル名などの情報が QR コードになっているのでスキャンするだけで、もとの属性を取り戻すことができます。
- 6. 高性能 OCR により、テキスト埋め込み PDF が作成可能**  
定評ある HG/PscanServ シリーズの PDF 変換技術により、高圧縮カラーPDF、また高圧縮カラーPDF に OCR テキストの貼付け、OCR テキストを別レイヤーとし、編集のしやすい PDF、パスワード付き PDF などセキュリティの付与など多機能の PDF 変換機能をもっています。

● **動作環境**

CPU : Pentium4 2GHz 以上推奨

RAM : 512MB 以上推奨

USB ポート : 1 ポート占有します

O/S : Windows 2000/XP/Server2003

富士ゼロックス社製「ApeosWare Flow Service」が動作していること

● **価格**

260,400 円 (税抜 248,000 円)

上記価格には初年度のサポート費用も含まれます。

● **発売開始時期**

2006 年 3 月 20 日 (月)

● **販売目標**

初年度 200 本

● **関連ソフトウェア**

本ソフトウェアと同様な QR コード機能をもち、富士ゼロックス製以外のデジタル複合機からも利用可能で、電子署名、タイムスタンプ機能などをもつ、HG/PscanServPlus4.0 も 2006 年 3 月 13 日より発売しています。

<お問合せ>

・株式会社 ハイパーギア 担当 : 武田・本田

住所: 〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区櫛引町 1-72-2

TEL: 048-654-2141 FAX : 048-654-2142

Mail : info@hypergear.com

URL : <http://www.hypergear.com>

<商標関係>

・ ApeosWare Flow Service, ApeosPort, DocuCentre, ArcWizShare は富士ゼロックス株式会社の商標です。

・ HG/PscanServPlus, HG/PscanServPro は株式会社ハイパーギアの商標です。

(その他本資料に記載の商標は各社の商標です)